32　横浜の公害を知っていますか

～昔の横浜の公害を知り、これからの横浜の環境を考えよう～

講義担当：環境創造局環境管理課

年間実施数	２回程度（日程があえば２回をこえても開催可能です）
講座対象者	■小学校児童　□中学校生徒　□放課後児童育成施設利用児童 □高校生徒　□大学生　□地域一般
対応曜日、時間	平日　９時～１７時
授業活用例	５年社会―くらしと公害、横浜の時間
講座実施方法 （　）は場所等	■講義（　屋内　） ■ワークショップ（　屋内　） □自然体験（　　）
講座所要時間	45　分（調整可能）
準備する道具、条件	パソコン、プロジェクター、スクリーン

内　容

■本講座の目的・ねらい

横浜の公害との戦いと環境保全の取り組みを知ることで、公害を身近な問題にとらえ、現在の環境を守り、さらに良くするためには、１人ひとりの意識が大切であることに気付く機会とします。

■内容

※以下を基本のプログラムとし、対象や要望に応じて適宜調整します。

昔の横浜の公害（大気汚染、水質汚濁、騒音・振動など）とその対策、そして、現在の環境保全の取組をスライドや環境を測定する器具などを用いながら説明し、今の環境を守り、さらに良くするために、私たちができる環境にやさしい行動について一緒に考えます。

←騒音計

① 昔の横浜の公害について（説明）

② 現在の環境保全の取組について（説明、ワークショップ）

≪ワークショップ例≫

・騒音計で子供たちの声を測定し、どれくらいの声の大きさが身近な環境（図書館や地下鉄など）の音のレベル（さわがしさ）と同じかを騒音の目安の表と比較する。

↓りんごの木

③ 環境にやさしい行動（意見交換）

（例）子供たちが考える環境にやさしい行動をりんごの付箋に書いて、りんごの木のパネルに貼り、その結果をもとに環境にやさしい行動について考えます。

講義の内容に関するお問い合わせ先：045-671-2487（環境創造局環境管理課）